平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月８日

上 場 会 社 名	日本石油輸送株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9074	URL	http://www.jot.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)森田　公生	
問合せ先責任者	(役職名)総務部長	(氏名)松井　克浩	(TEL)03(5496)7671
四半期報告書提出予定日	平成25年11月13日	配当支払開始予定日	平成25年12月６日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	13,936	△2.7	122	△17.8	293	△2.5	215	△7.5
25年３月期第２四半期	14,316	△4.4	149	481.0	300	117.1	233	138.9

(注)　包括利益　26年3月期第２四半期　239百万円（　―%）　25年３月期第２四半期　△132百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年３月期第２四半期	6.52	―
25年３月期第２四半期	7.05	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	26,512	15,768	59.5
25年３月期	27,296	15,662	57.4

(参考)自己資本　26年３月期第２四半期　15,768百万円　25年３月期　15,662百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年３月期	―	3.00	―	4.00	7.00
26年３月期	―	3.00			
26年３月期(予想)			―	4.00	7.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	30,500	0.1	700	26.3	900	16.4	600	10.4	18.13

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―社（社名）　　、除外　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料Ｐ５「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	33,229,350株	25年３月期	33,229,350株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	130,794株	25年３月期	128,216株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	33,099,812株	25年３月期２Ｑ	33,101,268株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 5
４．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の効果等を受け、景気拡大の動きが広がっているものの、海外経済の下振れリスクや原油価格高騰の影響等もあり、予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、景気回復の動きに伴い、国内貨物輸送量が増加傾向に転じておりますが、依然として低い水準に留まっております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客から信頼され選択される物流パートナーとして、安全で高品質な輸送の提供に努めるなか、引き続き既存顧客との関係強化および新規顧客の開拓に向けた営業活動を展開し、輸送量の確保を図ってまいりました。また、新しい輸送容器の開発や化成品輸送における海外事業等の新規事業にも、積極的に取り組んでまいりました。

しかしながら、石油輸送事業における震災に対応した振替輸送の終了の影響等を受け、当第２四半期連結累計期間における売上高は13,936百万円（前年同期比2.7％減）となり、営業利益は122百万円（同17.8％減）、経常利益は293百万円（同2.5％減）、四半期純利益は215百万円（同7.5％減）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（石油輸送事業）

石油輸送事業につきましては、震災に対応した振替輸送が前年９月に終了したことや北海道地区における油槽所の閉鎖等の影響もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は7,174百万円（前年同期比4.0％減）となりました。

（高圧ガス輸送事業）

高圧ガス輸送事業につきましては、ＬＮＧ（液化天然ガス）輸送において、夏季における発電用の需要増や前年度下期に開始した産業用の新規輸送による増加があったものの、ＬＰＧ（液化石油ガス）輸送の需要減もあり、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,350百万円（前年同期比0.3％減）となりました。

（化成品・コンテナ輸送事業）

化成品輸送事業につきましては、石油化学製品の国内需要が伸び悩むなかで、全体的な輸送量の減少に加え、既存リース物件の返還等による減収が響き、売上高は減少いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、台風、大雨等の自然災害や北海道地区の脱線事故により、貨物列車の運休が多数発生した影響を受け、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は3,328百万円（前年同期比4.4％減）となりました。

（その他事業）

平成25年３月より新規参入した太陽光発電事業につきましては、好天に恵まれ順調に稼動しており、当事業における売上高は83百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は26,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ784百万円減少いたしました。

流動資産は3,963百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円減少いたしました。これは主に季節変動による受取手形及び売掛金の減少によるものであります。固定資産は22,548百万円となり、前連結会計年度末に比べ508百万円減少いたしました。これは主に減価償却の進捗による機械装置及び運搬具、リース資産等の減少によるものであります。

負債は10,743百万円となり、前連結会計年度末に比べ890百万円減少いたしました。これは主に季節変動による支払手形及び買掛金の減少、短期借入金やリース債務の返済によるものであります。純資産は15,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは四半期純利益の計上、その他の包括利益累計額の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.1％上昇し、59.5％となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ216百万円増加（前年同期209百万円減少）し、589百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、1,537百万円増加（前年同期1,244百万円増加）いたしました。これは主として税金等調整前四半期純利益381百万円、減価償却費1,550百万円の計上によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、139百万円減少（前年同期612百万円減少）いたしました。これは主に、タンクローリー、コンテナの取得による支出309百万円、有形固定資産売却による増加104百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は1,182百万円減少（前年同期841百万円減少）いたしました。これは主に、短期借入金の返済425百万円、ファイナンス・リース債務の返済624百万円および配当金の支払132百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済は、全体として回復基調にて推移するものと予想されますが、海外経済の下振れリスクに加え、原油・原材料価格の高騰や来春の消費税増税による影響も懸念されるなど、先行きに対する不透明感が払拭されない状況にあります。

当社グループを取り巻く物流業界におきましては、消費税増税を見越した需要等により、国内貨物輸送量の増加が見込まれているものの、本格的な回復には、なお時間を要するものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは、国内石油製品需要の減少が続くなど、厳しい事業環境にあるなかで、鉄道輸送および自動車輸送をもつ企業グループの強みを最大限に生かし、顧客ニーズに迅速かつ的確な対応を図ってまいります。また、今後の成長に向け、新しい輸送容器の開発を推進し、市場への早期投入を図るとともに、本年10月より本格参入した化成品輸送における海外事業についても、事業拡大を図ってまいります。

こうした取り組みに加え、引き続き安全推進活動の強化や車両・コンテナの点検・整備体制の一層の充実を図り、顧客に対し安全・安心な輸送の提供に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、引き続き経済環境・景気動向への不安材料もあり、第３四半期以降の業績への影響も不透明な部分が多いことから、平成25年５月14日公表の業績予想値より変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	373	589
受取手形及び売掛金	3,258	2,777
その他	607	596
流動資産合計	4,238	3,963
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,440	5,125
コンテナ（純額）	2,263	2,183
土地	5,111	5,102
リース資産（純額）	3,533	3,309
その他（純額）	1,768	1,789
有形固定資産合計	18,117	17,511
投資その他の資産		
投資有価証券	3,996	4,088
その他	943	949
投資その他の資産合計	4,939	5,037
固定資産合計	23,057	22,548
資産合計	27,296	26,512
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,747	1,430
短期借入金	1,076	651
未払法人税等	109	184
賞与引当金	556	548
役員賞与引当金	96	41
その他	2,331	2,340
流動負債合計	5,918	5,196
固定負債		
リース債務	2,393	2,297
退職給付引当金	2,507	2,478
修繕引当金	279	235
その他	535	535
固定負債合計	5,716	5,547
負債合計	11,634	10,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,661	1,661
資本剰余金	290	290
利益剰余金	12,996	13,079
自己株式	△30	△31
株主資本合計	14,917	15,000
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	767
その他の包括利益累計額合計	744	767
純資産合計	15,662	15,768
負債純資産合計	27,296	26,512

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	14,316	13,936
売上原価	13,169	12,813
売上総利益	1,147	1,122
販売費及び一般管理費	998	1,000
営業利益	149	122
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	46	42
固定資産賃貸料	116	113
持分法による投資利益	34	40
雑収入	75	73
営業外収益合計	271	270
営業外費用		
支払利息	48	40
固定資産除売却損	21	16
固定資産賃貸費用	44	36
雑損失	4	5
営業外費用合計	119	99
経常利益	300	293
特別利益		
国庫補助金	9	76
固定資産売却益	103	29
補助金収入	39	57
その他	－	2
特別利益合計	152	166
特別損失		
固定資産圧縮損	8	76
減損損失	5	－
投資有価証券評価損	7	－
その他	2	2
特別損失合計	24	78
税金等調整前四半期純利益	428	381
法人税等	195	165
少数株主損益調整前四半期純利益	233	215
少数株主利益	－	－
四半期純利益	233	215

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	233	215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△362	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	△365	23
四半期包括利益	△132	239
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△132	239
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	428	381
減価償却費	1,554	1,550
減損損失	5	－
のれん償却額	11	－
固定資産除売却損益（△は益）	△103	△42
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額(△は減少)	△260	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,006	480
仕入債務の増減額（△は減少）	△759	△317
その他	△353	△416
小計	1,530	1,636
利息及び配当金の受取額	46	42
利息の支払額	△49	△40
法人税等の支払額	△282	△101
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,244	1,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,145	△309
有形固定資産の売却による収入	547	104
投資有価証券の増減額（△は増加）	△19	△15
その他	5	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△612	△139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	△37	△425
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△671	△624
配当金の支払額	△132	△132
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△841	△1,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△209	216
現金及び現金同等物の期首残高	892	373
現金及び現金同等物の四半期末残高	682	589

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	石油輸送	高圧ガス輸送	化成品・コンテナ輸送	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,473	3,361	3,481	14,316	―	14,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	218	―	3	221	△221	―
計	7,691	3,361	3,484	14,538	△221	14,316
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△0	△41	190	149	―	149

（注）　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	石油輸送	高圧ガス輸送	化成品・コンテナ輸送	その他(注)１	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,174	3,350	3,328	83	13,936	―	13,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	204	6	5	―	216	△216	―
計	7,378	3,356	3,334	83	14,152	△216	13,936
セグメント利益又はセグメント損失(△)	3	△59	153	24	122	―	122

（注)１　報告セグメントの「その他」は、太陽光発電事業であります。

（注)２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間より、「化成品・コンテナ輸送」に含まれていたＬＮＧコンテナ輸送を、管理区分の変更に伴い「高圧ガス輸送」に含めております。これにより、前第２四半期連結累計期間については、変更後の区分により作成しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。